

スカイマーク羽田線の累計搭乗者数10万人達成を祝してお出迎えしました ～コロナ禍にも拘わらず就航から1年9カ月での達成、引き続き地域一丸で路線を盛り上げていきます～



国内線到着口におけるお出迎えの様子

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)(※)は7月14日(木)、スカイマークの宮古(下地島)＝羽田線が就航から1年9カ月で累計搭乗者数10万人を達成したことを祝し、本協議会とスカイマーク下地島空港支店にて、お客様への感謝の気持ちを伝えるべく、羽田空港から到着されたお客様のお出迎えを行いました。

(※)本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

また、羽田空港出発時には、スカイマーク代表取締役社長執行役員の洞駿様やスカイマーク東京空港支店旅客係員などにより、搭乗されるお客様へのノベルティー配布やお見送りが行われました。

累計搭乗者数10万人達成について、本協議会会長を務める宮古島市の座喜味市長は以下コメントしています。
「新型コロナが始まってからの就航にも拘わらず、多くのお客様にご利用いただき感謝申し上げる。本路線はもはや宮古諸島や沖縄県の経済・観光促進に欠かせない路線となっており、引き続き羽田発着枠の獲得に向けて地域一丸となり取り組んでいきたい。」

本路線は国土交通省航空局の行う「羽田発着枠政策コンテスト」の2020年5月の評価結果に基づき、暫定的に2023年10月28日まで羽田空港の1日1往復分の発着枠が配分された上で運航が認められている路線です。特に本年3月27日より1年間は評価対象期間(トライアル運航期間)となっており、評価結果で僅差であった5位の羽田＝三沢線と6位の羽田＝宮古(下地島)線の評価対象期間における実績を再度評価した上で、羽田発着枠の最終的な配分先を決定することとされています。

本協議会では官民一体にて羽田線の利用促進に向けた取組を加速させることにより、羽田発着枠の獲得、そして宮古諸島のさらなる活性化を目指してまいります。

【お出迎えイベントの概要】

- 日 時： 2022年7月14日(木) 13:45~14:15
- 場 所： みやこ下地島空港ターミナル 国内線到着口付近
- 参加者： スカイマーク株式会社 下地島空港支店
 <<下地島空港活性化協議会会員>>
 宮古島市
 沖縄県
 宮古島商工会議所
 宮古島観光協会
 下地島エアポートマネジメント株式会社

以 上